

平成28年熊本地震災害 医療救護など被災地支援に全力
名古屋グランパスサポーターと被災地応援フラッグを作成



CONTENTS

クローズアップ

平成28年熊本地震災害

日本赤十字社愛知県支部評議員会の開催

名古屋グランパスが「平成28年熊本地震災害義援金」を愛知県支部へ寄付

世界赤十字デーに名古屋テレビ塔をレッドライトアップ!

「フィールドで命を救うために」名古屋オーシャンズがAED・CPR講習を受講!

三遠ネオフェニックス

日本赤十字社愛知県支部評議員会の開催

6月8日(水)、支部大会議室において平成28年度日本赤十字社愛知県支部評議員会を開催しました。評議員会では、平成27年度一般会計の決算について審議され、承認されました。

平成27年度

日本赤十字社愛知県支部歳入歳出決算の概要

歳入

①社資収入	1,344,110,832円
②補助金及び交付金収入	30,109,078円
③資金・会会計繰入金・資産収入	46,479,904円
④雑収入	22,378,934円
⑤前年度繰越金	127,387,010円
合計	1,570,465,758円

このうち 126,333,601円は翌年度に繰り越されました。

名古屋グランパスが「平成28年熊本地震災害義援金」を愛知県支部へ寄付

5月21日(土)豊田スタジアムで行われた鹿島アントラーズ戦との試合前に、名古屋グランパスの選手やサポーター有志の方々が募金活動で集めた「平成28年熊本地震災害義援金」(総額5,300,000円)を寄付いただきました。

また、当日は試合会場に赤十字ブースを出展し、多くのサポーターからグランパスフラッグに、熊本地震で被災された方々への応援メッセージを寄せてもらう企画を実施。心温まる応援フラッグが完成しました!なお、完成した応援フラッグは後日、日本赤十字社熊本県支部へ届けました。



株式会社名古屋グランパスエイト久米代表取締役社長から
愛知県支部部事務局に義援金が手渡されました

クロスサポーターに
聞く!
No.18
三遠ネオフェニックス

愛知県支部では、今年の3月10日に静岡県浜松市と愛知県東三河地区をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「浜松・東三河フェニックス」とパートナーシップ協定を締結しました。これまで同チームとは、バスケットボールを通じた地域活性化を目指し、愛知県支部および愛知県赤十字血液センターと様々な協働イベントを行ってきました!

エンターテイメントスポーツの提供とバスケットボールを通じた地元貢献活動!

「浜松・東三河フェニックス」は、チーム創設以来、バスケットボールの普及と発展を目指すとともに、エンターテイメントスポーツとして多くの人に夢と感動を与えることを基本理念としてきました。

「浜松・東三河地域で初めて誕生したプロスポーツチームとして、地域が“笑顔”になることを常に大切にしてきました。また、バスケットボールを通じて地元の街づくりに貢献するため、地域の様々なイベントに選手たちが参加するなど、地元貢献活動にも積極的に取り組んできました」と株式会社フェニックスの浜武恭生代表取締役社長。

フェニックスの主催試合は、エンターテイメント性にあふれたパフォーマンスで会場を盛り上げるとともに、選手たちのスピーディーで激しい攻防戦で応援に来た全てのファンを常に魅了し続け、これまで参入していたbjリーグでは3度の優勝を果たしました。またファンを喜ばせるだけでなく、地域密着型スポーツクラブとして浜松・東三河を中心とした地元の発展にも大いに貢献してきました。

選手たちによる熊本地震災害義援金の募金活動を実施!

4月30日と5月1日に行われた滋賀レイクスターズとのホームゲームでは、今回の平成28年熊本地震災害に対する復興支援として、両チームの選手たちが募金活動を行い、集められた義援金とフェニックス関連グッズの売り上げの一部を日本赤十字社へご寄付いただきました。

浜武代表取締役社長は、「今後も赤十字と協働し、社会貢献活動に取り組んでいきたい。赤十字の活動理念を多くの方々に知って頂く発信源となりたい」と語られました。



選手たちによる募金活動の様子

義援金を寄付する浜武恭生代表取締役社長(左)

チーム名を「三遠ネオフェニックス」に改名し、新たなBリーグに参入!

2016年9月に、日本最高峰の男子バスケットボールリーグ、「B.LEAGUE」がついに開幕し、チームは同リーグ1部への参入がすでに決定しています。新たな「B.LEAGUE」への参入に伴い、チーム名を「三遠ネオフェニックス」に改名し、新たなシーズンを迎えます!

「まずはプロスポーツチームとして、チームが強くなることが大事。フェニックスの試合を観た方々に勝つことの楽しさ、負けることの悔しさをこれまで以上に感じてもらいたい。そして今後も地元貢献活動を発展させ、この地域に三遠ネオフェニックスというプロバスケットボールクラブがあることが、地域の皆様にとって誇りとなるよう、より一層地域に愛されるクラブを目指していきます!」と浜武代表取締役社長は今後の意気込みを語りました。

チーム名も変わり、新たな挑戦に挑み続ける「三遠ネオフェニックス」は、今後も赤十字と協働し、バスケットボールを通じた社会貢献活動を推進していきます。

「三遠ネオフェニックス」

1965年「OSG(株)」のバスケットボール部として創部。2008年からbjリーグに参入し、「浜松・東三河フェニックス」として、これまでリーグ優勝3回。2016年9月からは、「B.LEAGUE」1部に参入。ホームアリーナを豊橋市総合体育館とし、新たなシーズンを迎えます。

世界赤十字デーに名古屋テレビ塔をレッドライトアップ!

5月8日の世界赤十字デーにあわせ、日本赤十字社では全国各地の公共、民間施設をレッドライトアップして、世界赤十字デーを祝うとともに、赤十字活動への理解を深めもらうきっかけとなるよう「ライトアップ運動2016」を実施しました!

この取り組みに愛知県支部では、5月8日の日没後から名古屋テレビ塔をレッドライトアップし、名古屋の中心をやさしい赤十字色で彩りました。

当日はテレビ塔下に赤十字ブースを出展し、青年奉仕団による熊本地震災害義援金の受付や、献血カードなど赤十字に関連するものをお持ちいただいた方や、赤十字へのメッセージをいただいた方に記念品をプレゼントするイベントも行い、多くの方々に参加いただきました。



ライトアップされたテレビ塔の下で、ハートちゃんと記念撮影

イベント当日のテレビ塔の写真を
たくさん投稿いただきました。
投稿いただいた写真の一部をご紹介します。



「フィールドで命を救うために」名古屋オーシャンズがAED・CPR講習を受講!

プロフットサルチームの名古屋オーシャンズが、4月25日(月)にフットサルの試合中や練習中に起こりうる心肺停止状態の時に使用するAEDとCPR(心肺蘇生法)講習を、赤十字職員による指導のもと受講しました。

この日は、新たなメンバーも加わった名古屋オーシャンズの全選手が参加し、1時間という短い時間でしたが、試合ながらの真剣な表情で講習を受けていました。

さらにこの日は、先日名古屋オーシャンズが行った「平成28年熊本地震」募金活動で集まった義援金とユニホームオークションなどの売り上げの一部を日本赤十字社へご寄付いただきました。



真剣な表情で講習を受ける選手たち

クロサボ!
特別編 No.5

■名古屋グランパス



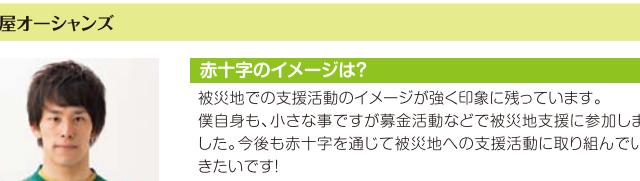
赤十字のイメージ?
人と人を繋ぎ、助け合うサポートをしてくれる団体。自分達は弱力ではありますが、今後も赤十字と協力し合い、義援金を集めたり、被災者の方の力になりたいです。

今年の抱負?

グランパスの選手として、チームに貢献できるよう全力でプレーします!ぜひ試合観戦に来てください!!

西村弘司選手

●背番号:21 ●ポジション:GK ●出身地:三重県



■名古屋オーシャンズ

赤十字のイメージ?

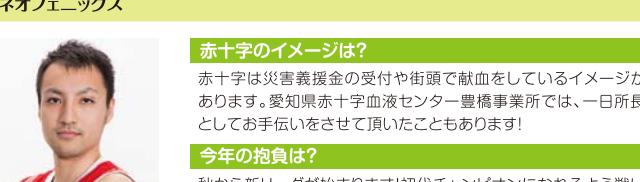
被災地での支援活動のイメージが強く印象に残っています。僕自身も、小さな事ですが募金活動などで被災地支援に参加しました。今後も赤十字を通じて被災地への支援活動に取り組んでいきたいです。

今年の抱負?

Fリーグ10連覇に貢献出来るよう頑張ります!

関口優志選手

●背番号:2 ●ポジション:GK ●出身地:北海道



■三遠ネオフェニックス

赤十字のイメージ?

赤十字は災害義援金の受付や街頭で献血をしているイメージがあります。愛知県赤十字血液センター・豊橋事業所では、一日所長として手伝いをさせて頂いたこともあります。

今年の抱負?

秋から新リーグが始まります!初代チャンピオンになるよう戦いながら新リーグに参戦します!

川満寿史選手

●背番号:9 ●ポジション:SF ●出身地:沖縄県

平成28年熊本地震災害

クローズアップ

Message board



INFORMATION

インフォメーション

●パパママちゃんねる!赤十字こどもの安全教室

夏休み期間中に増える海やプールでの水の事故に備えた安全教室を開催します。プールサイドで身近なものを使った救助方法やAEDの使い方など親子で楽しく学んでいただける教室です。詳細、お問い合わせは愛知県支部ホームページをご覧ください。



●日本赤十字豊田看護大学 オープンキャンパス

日本赤十字豊田看護大学では、7月23日(土)と8月18日(木)の二日間、オープンキャンパスを開催します。当日は在学生による入試相談コーナー、体験デモンストレーション、模擬授業など様々なプログラムを予定しています。看護の世界に興味がある高校生の皆さん、志望校を検討中の受験生の皆さんぜひお越し下さい。



日時:平成28年7月23日(土)・8月18日(木)10:00~15:00

場所:日本赤十字豊田看護大学(豊田市白山町七曲12-33)
ホームページからお申込み可能です。<http://www.rctoyota.ac.jp/>

お問い合わせ先 企画・地域交流課:TEL 0565-36-5228(直通)

ボランティアリレー!

このコーナーでは、ボランティアとして活躍する奉仕団をリレー方式で紹介していきます。



●私たちのイチオシポイント!

岡崎市には外国人居住者が多いことから、外国人との協働に力を入れています。市内の外国人支援団体が岡崎市中央総合公園で開催するバーベキュー大会等に参加し、外国人参加者を対象に健康生活支援講習などを実施しています。

次回は日進市赤十字奉仕団へバトンタッチ!

次回は日進市赤十字奉仕団さんです!私たちと同じく児童安全法講習指導員と健康生活支援講習指導員が在籍する団として、積極的に地域に講習を普及していきましょう。よろしくお願い致します!



ご協力感謝申し上げます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

赤十字事業は、社員(会員)のみなさまからの年間500円以上の「社費(会費)」と、一般の方から寄せられる「寄付金」によって支えられています。赤十字の活動資金にご協力ください。

郵便振替口座 00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

日本赤

発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/平成28年7月1日

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL052-971-1591(代表)

ホームページで [日赤愛知](http://www.aichi.jrc.or.jp) 検索

次のNo.128号は
平成28年10月1日発行予定です。

平成28年

熊本地震 赤十字の活動

日本赤十字社は、4月14日に発生した熊本地震の発災直後から被災地で医療救護活動を開始しました。愛知県内からも名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院などから多くの職員を派遣しました。今後も皆様から頂いた活動資金により、被災者に寄り添った支援を続けていきます。今号ではこれまでの災害支援活動の一部をご紹介します。

熊本赤十字病院

基幹災害拠点病院となっている熊本赤十字病院では、近隣の医療機関の機能停止などに伴い、発災直後から災害救護の最前線で懸命の活動を継続。多くの職員が被災しましたが、全国の赤十字病院から、医師・看護師ら約300人がかけつけて職員をサポートしました。



発災直後の慌ただしい熊本赤十字病院

熊本県支部災害対策本部

日本赤十字社熊本県支部では発災直後に熊本県と熊本市の災害対策本部へ職員を派遣し、情報収集を行いました。その後は熊本県支部災害対策本部を設置し、全国から参集された救護班との情報共有を図りながら、被災地での日赤医療救護活動の指揮をとりました。



熊本県支部に設置された災害対策本部

各避難所

日赤の医療救護班は被災地の各避難所で、dERU(仮設診療所)や救護所を設置したり、巡回診療を行なうなどの医療救護活動を行いました。また避難所生活が続く被災者に対し、こころのケア活動も行いました。



避難所で脱水症状となり、処置を受ける子ども



避難所での巡回診療



搬送された被災者



ミーティングを終え、災害対策本部から救護員が出動



愛知県内から多くの赤十字職員を被災地に派遣しました

発災直後からこれまでに、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院から医療救護班を4班派遣し、被災地で医療救護活動を行ったほか、愛知県支部からは避難所で避難されている方に対し「安眠セット」850セット、タオルケット1,000枚の救援物資を送付しました。

平成28年熊本地震 災害義援金受付期間延長のお知らせ

日本赤十字社は、平成28年熊本地震災害義援金の受付期間を下記のとおり延長することを決定いたしました。引き続き、あたたかいご支援をよろしくお願いします。

延長期間
平成28年7月1日~
平成29年3月31日まで

●受付状況: 169億9,594万4,794円
(平成28年6月10日現在)

※日本赤十字社で受け付けた義援金の合計額です。

●送金状況: 75億9,925万6,070円
(平成28年5月25日現在)

※熊本県 75億8,549万3,268円、大分県 1,376万2,802円

※第1回 平成28年4月28日付 30億9,382万2,838円

※第2回 平成28年5月25日付 45億 543万3,232円